

## 人物図鑑

ねむろを愛する  
素敵な人たち

## 根室出身の真打ちは同級生

金原亭馬遊・三遊亭金八根室後援会

会長

三ツ木

正己さん

(39)

根室出身の落語家、金原亭馬遊さん（本名 高満毅一）と三遊亭金八さん（本名 木村吉伸）は、平成13年と平成14年に相次いで真打ちに昇進し、東京をはじめ全国を巡り活躍しています。

そんな二人を応援しようと、地元有志の声掛けで根室後援会が設立されました。今年の役員改正で、長谷川市長から会長を引き継いだ三ツ木正己さんは、今後の後援会活動について意欲をみせます。

「平成23年には、後援会設立から10周年を迎えます。10周年のイベントが記念に残るよう、今から構想を練っていますが、彼らの落語はもちろんです、根室では見ることができない芸も楽しんでもらいたいと思っています。」大きな事業を目前に、新会長の生活も忙しくなりそうです。そして、会長以下三役を同級生が務め

ることになりました。同級生が中心となり応援を送ることは、二人にとってもうれしいことで、親しいからこそできる情報のやり取りが、これからの後援会に大きな変化を与えてくれそうです。厳しい落語界に飛び込み、第一線で活躍していることは、同級生として自慢であり根室の誇りと、三ツ木さんは笑顔を見せます。真打ち昇進までの苦労話を聞いている友人としても、この笑顔が心からの応援につながっていることを感じさせてくれます。

「機会があるごとに二人を紹介し、もっと大きな地元での輪を作っていきたいと思えます。そのためにも、多くの方々が後援会に参加していただければと思います。根室では落語を聞く機会も少なく、二人のオールマイティな落語を楽しんでもらいたいですね。」根室での高座では、地元ならではの緊張感が漂う中、二人の裏話を含めた横顔をみることができるといいます。

ねむろ味覚観光大使を務め、ほかの町では根室のPRを忘れないという、二人の落語家の活躍を支える三ツ木さん。「真打ちは同級生」を自信に、大きな輪を描くことでしよう。